

東芝林間病院が廃止となった場合の 地域医療への影響

令和4年11月

相模原市 健康福祉局保健衛生部医療政策課



本日の説明内容

- 1 東芝林間病院について
- 2 相模原医療圏の地域医療と東芝林間病院の役割
 - (1) 救急医療体制への影響
 - (2) 感染症対策への影響
 - (3) 住民への影響
- 3 相模原市の方針



1 東芝林間病院について

所在地	神奈川県相模原市南区上鶴間 7 - 9 - 1					
医療機関の現状						
令和3年度 病床機能報告	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計
許可病床数	0床	159床	40床	0床	0床	199床
稼働病床数	0床	159床	40床	0床	0床	199床
診療科目	内科、腎臓内科、神経内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、リウマチ科、脳神経外科、精神科、外科、乳腺外科、整形外科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科、歯科口腔外科 計21科					
指定・届出等の状況	救急病院（告示・輪番）					
特徴	二次救急医療機関の診療科目において、小児科及び産科を除く全ての診療科目（内科系、循環器系、消化器系、外科系）に対応している。					

新型コロナウイルス感染症への対応にあたり、神奈川モデル認定医療機関として患者の受入れを行っていること等から、現時点の実際の稼働病床は病床機能報告上の病床数と異なる



2 相模原医療圏の地域医療と東芝林間病院の役割

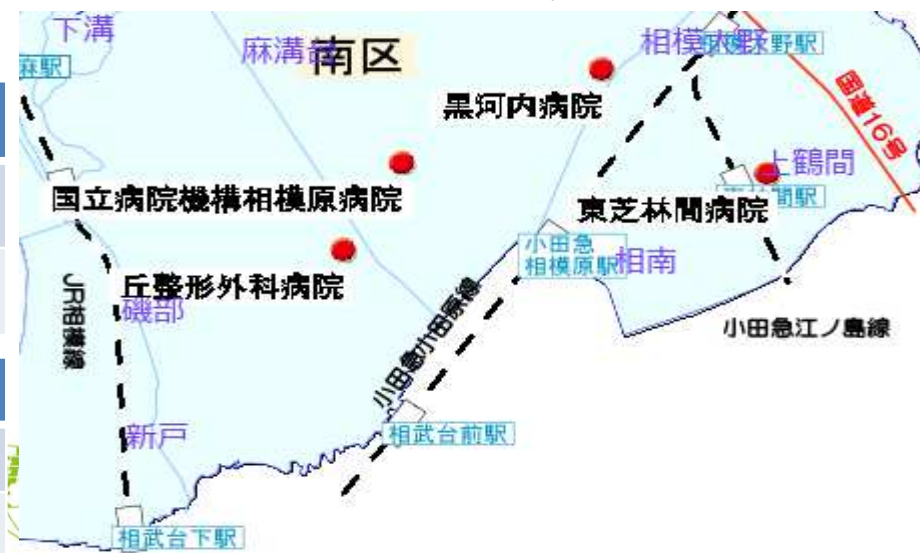
(1) 救急医療体制への影響【二次救急の応需体制】

東芝林間病院は二次救急協力病院として、南区内の救急搬送患者の約12%（市内全体では約4%）を受け入れており、他の区に比べて搬送人数の多い南区を中心に大きな役割を担っている。

また、休日夜間における入院を要する急病患者も受け入れており、当該病院が廃院となった場合は、特に南区の救急活動時間の延伸による救命率の低下など、直接的な影響が著しく大きい。

【医療機関への搬送人数(令和3年度)】

	搬送人数	比率
東芝林間病院	993	11.8%
南区	8,419	100.0%
(参考)		
南区	8,419	33.8%
市全域	24,931	100.0%



2 相模原医療圏の地域医療と東芝林間病院の役割

(1) 救急医療体制への影響【二次救急の応需体制】

二次救急医療体制については診療科目毎に体制を構築しているが、東芝林間病院は「内科系」「循環器系」「消化器系」「外科系」の応需を行っている。

当該病院が廃院となった場合は南区において「循環器系」の受入れ病院は「1病院」となってしまいが、特に「循環器系」は救急活動時間の延伸が救命率やその後の社会復帰率等に大きな影響を与える。

【二次救急協力医療機関による応需体制】

	応需診療科 応需病院	内科系	循環器系	消化器系	小児科	産婦人科	外科系
南区	4病院	3病院	2病院	3病院	1病院	1病院	4病院
緑区	3病院	3病院	1病院	2病院	1病院	1病院	2病院
中央区	5病院	5病院	2病院	5病院	3病院	3病院	4病院
市全域	12病院	11病院	5病院	10病院	5病院	5病院	10病院



2 相模原医療圏の地域医療と東芝林間病院の役割

(2) 感染症対策への影響

神奈川モデルにおける「重点医療機関協力病院」として、新型コロナウイルス陽性患者の対応を行っており、当該病院が廃院となった場合は、新型コロナウイルスを含む感染症対策への影響が著しく大きい。

【実績】 新型コロナウイルス感染症受入れ患者数(令和3年度)

外来患者数 : 2,253人

入院患者数 : 98人(軽症23人、中等症72人、重症3人)

《東芝林間病院からの情報提供に基づき作成》



2 相模原医療圏の地域医療と東芝林間病院の役割

(3) 住民への影響

相模原医療圏は病床過少地域のため、当該病院が廃院となった場合、病床数が不足する。(199床) また、病床の再配分は公募により実施されるため、現病床数と同等の病床数になるには1年以上の期間を要し、入院している患者は転院を要するなど、患者や家族等への影響が著しく大きい。

【東芝林間病院と市全域の患者数の比較(令和3年度)】

	延べ外来患者数(人)	一日平均外来患者数(人)	比率(%)	延べ入院患者数(人)	一日平均入院患者数(人)	比率(%)
東芝林間病院	156,367	590	6.5	50,332	138	2.7
市全域	2,422,167	-	100.0	1,831,350	5,017	100.0

《東芝林間病院からの情報提供及び病院報告(厚労省HP公開資料に基づき作成)》
 診療日数は医療機関による異なるため「-」としている。



3 相模原市の方針

東芝林間病院は、1日約600人の外来患者や約140人の入院患者に対応するとともに、救急告示病院かつ、本市の二次救急医療協力病院であり、加えて、地域の診療所(歯科を含む)と連携し、南区の地域医療を支えている。

また、新型コロナウイルス感染症の患者を受け入れるなど、本市の感染症対策においても重要な役割を担っている。

本市としては、地域医療の空白期間を生じさせないためにも、病床の取扱いについて県に特段の御配慮をお願いしたい。



参考 近隣の病院の状況

近隣の救急告示病院位置図及び病床数

